

STRUCTURAL COLOR INKJET TECHNOLOGY

Exhibition Vol.1

IMPRESS

20-23
MAR
2025

STUDIO BYCOLOR × CLAY material LAB

富士フィルム デザインセンターが手がけるプロジェクト「CLAY material LAB」は、第一弾として、STUDIO BYCOLORの秋山かおり氏をデザインディレクターに迎え、企画展「IMPRESS」展を2025年3月20日（木・祝）より3月23日（日）まで、TIERS GALLERYで開催します。

色素を一切用いず、インク膜内に形成した微細構造が光を反射することで構造色を発現させ、見る角度や背景色によって色が変わる富士フィルムの「構造色インクジェット印刷技術」*。本展は、この技術にフィグラ株式会社による高精度な合わせガラス技術を重ね合わせ、木目を生きた証として光で印す家具（カリモク家具株式会社）や、大理石の奥行のある色や模様を写し取ったオブジェクト（矢橋大理石株式会社）など、インテリアや空間装飾、プロダクトでの表現の可能性を提案するプロトタイプを展示します。また、それぞれの作品完成までの制作工程や、構造色インクジェット印刷のデザインレシピも公開します。

RGBの光が描き出す新たな加飾表現の可能性を、是非この機会にご覧ください。

*構造色インクジェット技術：<https://www.fujifilm.com/jp/ja/news/list/7724>

開催概要

タイトル	STUDIO BYCOLOR × CLAY material LAB 「IMPRESS」展
会期	2025年3月20日（木・祝） – 3月23日（日）
開館時間	11:00 – 18:00（最終日は17:00まで）
会場	TIERS GALLERY（〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-7-12 MAP ） https://www.arakawagrip.co.jp/tiersgallery
アクセス	東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」A1出口より徒歩3分 東京メトロ副都心線・千代田線「明治神宮前駅」4番出口より徒歩4分 JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩10分
入場料	無料
主催	富士フィルム株式会社 デザインセンター
デザインディレクター	STUDIO BYCOLOR 秋山かおり
協力	フィグラ株式会社、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社
協賛	カリモク家具株式会社、矢橋大理石株式会社、有限会社落合製作所、 アイティーエル株式会社、荒川技研工業株式会社

ディレクターズ メッセージ

私たちの日常はあらゆる色や素材に満ち溢れ、それらの存在は私たちを時にワクワクするような世界へ導いたり、時に途方もない悲しみの中で優しく包み込んだり、感情に寄り添い日々を豊かにしてくれます。

日本人の私たちは、遥か遠い昔から植物や鉱物から色素をいただき、衣服や器、住居など日々関わるものへといかしてきました。一方で、色素を得ずに色を表現できる'構造色'の存在が、近年ものづくりの現場で注目されているのをご存知でしょうか？

日本には古くから馴染みのある玉虫という昆虫がいます。染料や顔料は時と共に色や風合いが変わっていくものですが、玉虫の羽は構造色で成り立っており、玉虫の羽が装飾で使われている国宝玉虫厨子は1,000年が経つ今も美しい玉虫色が感じられるそうです。

構造色は、文字どおり表面構造で光の波長をコントロールして色を感じさせるため、構造が変化しない限り変わりません。'変わる'からこそ色や素材の魅力を感じられる私たち日本人でありたいと思いつつも、やはり遥か昔から'変わらない'ものに憧れる日本人の私たち。そんな相反する想いや欲求がこうした技術を生み出して新しい表現を可能とします。

これから1,000年後にこういったものとして残るのか、今まさに私たちのクリエイティビティが試されていると感じています。本展示'IMPRESS'は構造色のインクジェット印刷技術の可能性を私たちの日常へ広げる取り組みです。身近な色や素材の成り立ちに目を向け、'変わらない'ものを思い描く機会としていただけたら嬉しく思います。

STUDIO BYCOLOR 秋山かおり



秋山かおり Kaori Akiyama

デザインの領域が広がる今、あたりまえを問い私たちの目の前にあるものを一から見直すアプローチで「STUDIO BYCOLOR」として活動。その足元に眠る時間を掘り起こしながら、事柄が生まれた過程を知り「芯」を据え、色や素材により魅力を引き出し存在の意味を一層強めていく。素材実験から導き出された「INHERENT:PATTERN」は2022年に世界3大デザイン賞のひとつIF DESIGN AWARDを受賞。この他、IF DESIGN AWARD GOLD, DFA AWARD GOLD, DIA Top 100など受賞多数、グッドデザイン賞審査員、What Design Can Do Committee member、タイ デザインエクセレンスアワード審査員、台湾国際学生デザインコンペティション審査員など国内外の審査員を務め、デザインの価値を見出す活動も行う。

<https://studiobycolor.com>

「CLAY material LAB」メッセージ

古代から装飾品にも用いられてきた、自然が生み出す美しい「構造色」。

『「構造色」を技術で再現できれば、今までにない新たな表現が可能になるかもしれない。』
そのような思いから私たちは「構造色インクジェット技術」の開発に取り組み、実現しました。

「構造色」とは、光の波長程度の微細構造によって生じる発色現象で、物質自体に色素はなく、その微細な構造によって光が干渉・分光することで発色するメカニズムです。当社は、この構造色を発現するインクジェット技術を開発し、それによりオンデマンドでさまざまなデザインデータを構造色で表現することが可能になりました。私たちはこの技術が、光をいかした表現や、光を用いた機能とデザインの共存など、従来にない可能性を秘めていると感じています。今回の展示を通じ、構造色インクジェット技術がグラフィック表現の新たな「画材」の1つになれば、と願っています。

展示作品

#01 SHELL : Side Table (フィグラ株式会社、有限会社落合製作所)

黒蝶真珠とアコヤ真珠に見られる干渉色から想起し、虹色に輝く姿をスケールアウトしたサイドテーブル。積層ガラスに封じ込まれた構造色インクジェットフィルムが、背景色の違いで異なる表情を生み出すことが感じられる作品。

#02 BUBBLE : Mirror (フィグラ株式会社)

シャボン玉がもつ多色が軽やかに揺らめく様子を、ミラー材と構造色インクジェットフィルムの組み合わせによって、その干渉色を表現する作品。

#03 SHELL : Mobile (フィグラ株式会社)

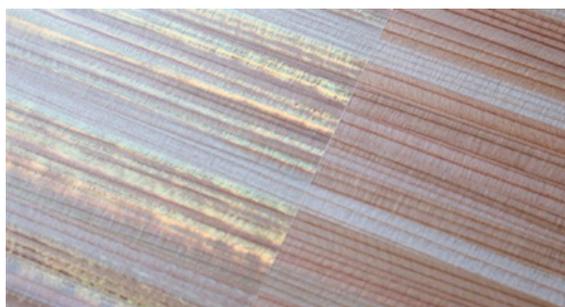
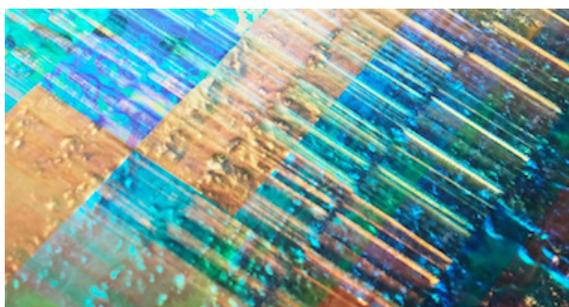
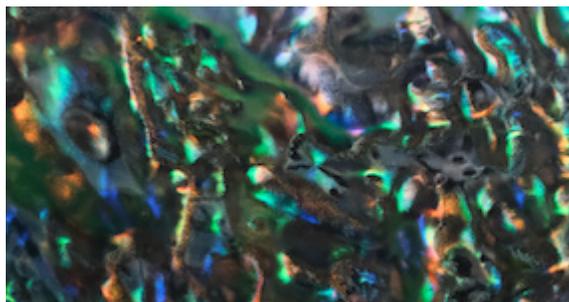
ゆっくりと回転しながら太陽光を受けて煌めくモバイル。垂直に存在することで光が思わぬ景色をもたらす。構造色インクジェットフィルムの色と透過光の色との違いが感じられる作品。

#04 WOOD : Low Table (フィグラ株式会社、カリモク家具株式会社)

未利用の国産木材(ナラ枯れ材)の木目を、生きた証として構造色インクジェットフィルムへ写し取り、ローテーブルへと展開した作品。木目を構造色で表現するという新しい取り組みに挑戦。

#05 MARBLE : Table (矢橋大理石株式会社)

大理石ならではの奥行きが感じられる風合いを、構造色インクジェットフィルムへ置き換えて表現した作品。地球が長い年月をかけて形成した大理石の美しい色や模様を、透明感ある構造色で表現する新たな試み。



「CLAY material LAB」について

富士フィルムの要素技術や高機能材料が持つ価値や可能性を、「マテリアルデザイン」を通じて可視化し、発信することで新たな気づきや出会いに繋げることを目的に、2024年に立ち上げたプロジェクト。さまざまな分野のデザイナーやクリエイターとのコラボレーションを通じ、富士フィルムが有するユニークな技術の多様な可能性を探索しています。

プレスに関するお問合せ先

STUDIO BYCOLOR × CLAY material LAB
「IMPRESS」展 PR SUPPORT 株式会社ハウ
Mail : pressrelease@how-pr.co.jp Tel : 03-5414-6405

プロジェクトに関するお問合せ先

富士フィルム株式会社 デザインセンター
マネージャー：前田 麻美
Mail: mami.maeda@fujifilm.com